

第22回 電気システムセキュリティ特別技術委員会  
議事録(案)

日時 : 平成30年 3月 14日(水) 9時45分~12時10分

場所 : 九州大学 伊都キャンパス センター2号館 2309教室

出席者 : 栗原委員長, 徳田委員(A部門代表), 小海 裕 様(B部門代表 佐藤委員代理),  
芹澤委員(C部門長), 泉井委員(C部門代表),  
瀬戸委員(2号委員), 餘利野委員(2号委員), 毛塚委員(2号委員),  
桂幹事, 大澤(オブザーバ)(敬称略), 以上10名

配付資料

- 資料22-0 第22回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料22-1 第2回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 ブレインストーミング 議事録(案)
- 資料22-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料22-3-1 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料22-3-2 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料22-4 「特別調査専門委員会」設立趣意書(素案)
- 資料22-5 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」成果の取りまとめ・公表に関する報告

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料22-1に基づき, 平成29年12月27日に開催された第2回ブレインストーミングの議事録(案)について確認を行い, 承認された。

3 特別調査専門委員会からの報告

3-1 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(芹澤委員)

資料22-3-1に基づき, 2月23日に行われた第7回委員会について報告があった。

- ・分野別動向調査
  - ー自動車システムのセキュリティ
- ・技術動向調査
  - ー組込みシステムへの最新攻撃動向
  - ー制御系のサイバーセキュリティのための協調型ホワイトリスト

(栗原委員長) 第2期の纏めの企画セッションはどのようなものか。

(芹澤委員) シンポジウムのことである。

(栗原委員長) 分野は広く調査されているが, 何をもって完了したと言えるのか。

(芹澤委員) 電気学会で扱う分野の主だったところはカバーしている。

(栗原委員長) 成果の纏めに関して, 第1期のものも追加して頂きたい。今後の課題も整理して纏めて頂けると良い。

### 3-2 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

資料2-2-3-2に基づき、3月16日に行われたH29年度第4回委員会について報告があった。グローバルフレンドシップ(株)への追加ヒアリングを行い、電子割符による秘密分散技術について調査を行った。

委員会の最終報告は全国大会のシンポジウムで行う。また、E部門誌の特集号(平成30年10月号、テーマ「社会インフラセキュリティのためのセンサシステム」)を企画している。

(栗原委員長) シンポジウムでは電子割符がメインになるのか。

(毛塚委員) そうである。

(栗原委員長) 特定のメーカーの宣伝にならないようにして頂けると良い。

## 4 成果の取り纏めに関する報告

### 4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会特別調査専門委員会」(瀬戸委員)

技術報告単行本について、タイトルは「IoT時代の電磁セキュリティ」として、来年4月頃に出版される見込みである。

### 4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(餘利野委員)

資料2-2-5に基づき、技術報告(に準じるもの)の編集作業について報告があった。著作権の処理に関して時間がかかっているが、3月中には終了する予定である。

(栗原委員長) ホームページについても纏めて頂きたい。ソースを幹事宛お送り頂きたい。

## ※ 成果の取り纏めに関して

(栗原委員長) 全ての特別調査専門委員会委員長に全体の活動報告について4月6日(金)まで桂幹事宛にお送り頂きたい。

## 5 第2期の活動について

### 5-1 「自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会(仮)」

資料2-2-4に基づき、瀬戸委員より設置趣意書の説明があった。

(栗原委員長) 設置趣意書に記載する委員会の構成はどの程度固まっている。

(瀬戸委員) まだ打診していないところもあり、半分程度である。

(泉井委員) 海上・港湾・航空技術研究所はどこが所管官庁なのか。

(瀬戸委員) 国土交通省である。

(栗原委員長) 「自動運転」より「自律走行システム」の方が扱う範囲は広い。

(餘利野委員) これまで各社は独自でやってきたのか。

(瀬戸委員) そうなっている。

(泉井委員) ガイドラインなどの策定につながるだろう。

(泉井委員) 車に関して進めていくのが良いと思うが、もう1つ2つのテーマをどう進めるか。  
次期内閣府 SIP は12テーマあり、電気学会に関係するものでは自動走行、サイバー空間、センサ技術、サイバーフィジカルセキュリティ、材料、エネルギー・環境、スマート物流などがある。

(栗原委員長) A部門を中心に自動車関連でD部門は参画できるのではないか。

(栗原委員長) 「自律走行システム」に関してはぜひ検討が必要であり、設置趣意書の形式に直して提出をお願いしたい。

## 5-2 Society 5.0 のセキュリティ検討に関して

(栗原委員長) 2030~2040年を見越した次世代のエネルギーセキュリティを考えたい。

(泉井委員) 再エネが大量に増えた時の取引など扱えないか。

(栗原委員長) どなたに委員長をお願いするかといったことや、サブワーキンググループなどをどうするかということも検討したい。

(餘利野委員) 何がベストかといった形を計算で出してみるということも可能ではないか。デマンドレスポンスやマイクログリッドから外した上での理想を出して議論をしていくやり方も考えられる。

(泉井委員) 電源構成は国の方針が出てくるので、課題をリストアップするだけでも十分ではないか。

(栗原委員長) こういう技術を開発すれば社会はこうなるという方が学会としてふさわしいだろう。

(栗原委員長) Society 5.0 とすれば部門横断で検討することが可能になるのではないか。委員長と特別技術委員会の1号委員で連携をしてもらえると良いか。

(徳田委員) Society 5.0 を真面目に考えてテーマ設定を行うのか。あるいはテーマを絞って行うのか。

(泉井委員) 「Society 5.0における」ということを枕詞にして、「エネルギーバリューチェーン」のセキュリティ、「自律走行システム」のセキュリティとすると統一感が出て良いのではないか。

(瀬戸委員) 「自律走行システム」はSociety 5.0によらないので、付ける必要はない。

(徳田委員) 国際的にも「スマートエネルギー」という言葉は使われている。

(栗原委員長) 「Society 5.0におけるエネルギーバリューチェーンセキュリティ特別調査専門委員会(仮)」として設置検討を進めたい。委員長候補者に打診を行う。

(栗原委員長) 3つ目のテーマとしてふさわしいのは「サイバーセキュリティ」ではないか。  
「Society 5.0におけるサイバーフィジカルセキュリティ特別調査専門委員会(仮)」として、芹澤委員に相談したい。

※ブレインストーミングのまとめ

(栗原委員長) 第1期では現状のテーマについて検討を行ったので、30年後の次の時代を見据えたテーマとして下記3テーマで設置したい。

- ・自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会（仮）
- ・Society 5.0におけるエネルギーバリューチェーンセキュリティ特別調査専門委員会（仮）
- ・Society 5.0におけるサイバーフィジカルセキュリティ特別調査専門委員会（仮）

6 その他

なし

以上